

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-1-034

補助事業名 平成26年度 親と子のふれあい交流活動 補助事業

補助事業者名 公益財団法人日本科学技術振興財団

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

身近な工業製品「自動車・モーターサイクル・自転車」及び「家電」に対して、「記憶に残るモノ」を親・子・孫など幅広い世代間コミュニケーションのもとに参加できるWebアンケートを実施。アンケート結果を公開するとともに、これを活かして展示や講演、ワークショップを開催し、幅広い世代間の交流を深めるリアルな場（機会）を展開します。

それにより広く一般国民の「モノづくり」や「科学技術」への興味関心を喚起し、幅広い世代間コミュニケーションの活性化や将来の子どもたちへの文化・伝統技術等の継承を図ることを目的としました。

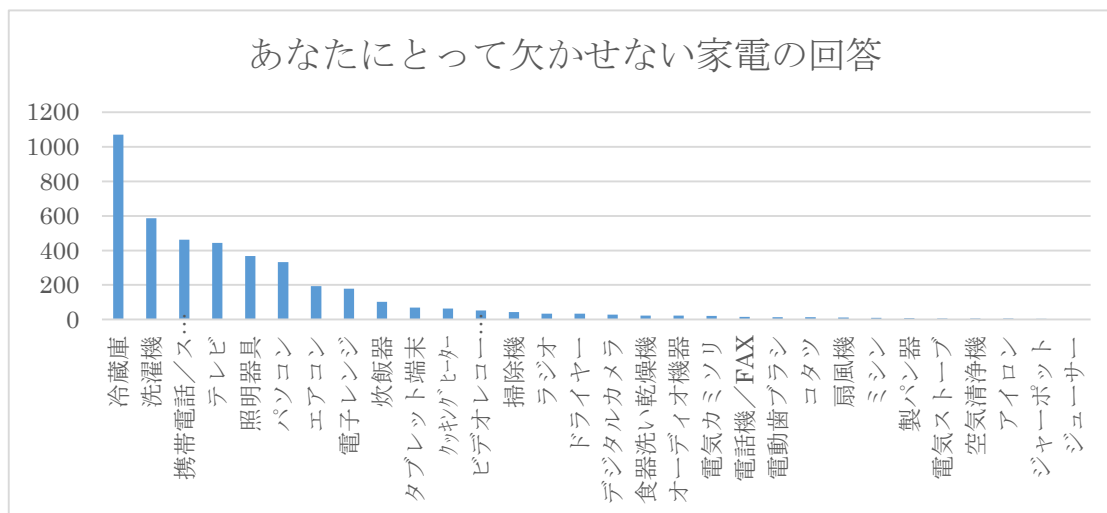
(2) 実施内容

① 「家電&のりものWebアンケート」の実施

<https://industry50.jsf.or.jp/>

2014年8月20日～11月30日までの103日間、身近な工業製品「家電」及び「自動車・モーターサイクル・自転車」について、親子が世代を超えて参加できる「家電&のりものWebアンケート」を実施。

幅広い世代から3,402件の回答が寄せられました。幅広い世代間コミュニケーションを通じて、科学技術に対する興味関心を深めるきっかけをつくりました。



②ニッポンの産業技術 50 年「しくみとくふうと、まなぶ展」の開催

<https://industry50.jsf.or.jp/>

2015年3月20日～4月7日までの19日間、「家電&のりものWebアンケート」の結果を反映し、身近な工業製品である家電とクルマの展示を行う「しくみとくふうと、まなぶ展」を開催しました。また、会期中に家電に関する講演・ワークショップを行いました。

本物を直にみせることで日本の産業やモノづくりへの興味を喚起し、来場する親子連れ、家族連れに対して、幅広い世代間コミュニケーションの場とし、日本の産業およびモノづくり振興を図りました。



普及しだしたころのテレビ・洗濯機の展示



家電解体ショー「洗濯機の解体」

2 予想される事業実施効果

「家電&のりものWebアンケート」を通して、親子が参加することで、幅広い世代間コミュニケーションが図られ、科学技術に対する興味関心を深めるきっかけをつくりました。

このWebアンケートの結果を反映し、「しくみとくふうと、まなぶ展」を開催し、古い家電とクルマの展示や未来の技術を考えるワークショップ等の実体験に繋げることを図りました。大人（祖父、祖母、父、母の年代の方々）にとっては懐かしむと同時に、子どもに昔の生活や技術を、実物を通して伝える機会となるとともに、現代の家電やクルマと比べ、この数十年間の技術の進歩を思い返し、これからの技術のあり方を考える機会となりました。

この展示やWebアンケートの結果は、平成27年に実施する夏休み特別展「ニッポンの現代産業50年」展へつなげ、展示内容を深め、規模を拡大し、実物展示やワークショップを通して、幅広い世代間コミュニケーションの場として、日本の産業およびモノづくりの振興につなげていきます。

(別紙5)

### 3 本事業に係る成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

該当なし

#### (2) (1) 以外で当事業において作成したもの

#### JSF Today No. 136 (広報誌2015年4月)

##### ●活動報告

##### 春の特別展「しくみとくふうと、まなぶ展」を開催

「ニッポンの産業技術50年」事業～「家電&のりものWebアンケート」結果生かし

「ニッポンの産業技術50年」をテーマとする科学技術館開館50周年事業（JICA補助事業）の第1弾「家電&のりものWebアンケート」には約3,400件の回答が寄せられました。このWebアンケートの成果生かし、第2弾となる春休み特別展「ニッポンの産業技術50年 しきりとくふうと、まなぶ展」を2015年3月20日（金）から4月7日（火）までの19日間、2階イベントホールを会場に開催しました。この特別展は盛況をもって終了し、夏休みに予定している第3弾の大型特別展に向けて弾みとなりました。



春の特別展の会場。右側には日本の「新発動車」の展示が（2015年3月20日）



開館50周年記念特別展「EVTEE WAVE」の展示。写真は日本のEVTEE WAVEの展示。写真は日本のEVTEE WAVEの展示。

##### ●開館初の家電から次世代コンセプトカーまで

科学技術館では、50年を振り返り50年の科学・技術・産業と私たちの暮らしを考える機会として特別展「ニッポンの産業技術50年～今日の技術が未来をつくる」を2015年夏に開催する計画です。今回そのプレイベントとして春休み期間中、「しくみとくふうと、まなぶ展」を開催しました。家電やクルマを通して、私たちの生活様式を変え、暮らしを豊かにしてきたモノがたどった進化のあちを、来館者と一帯に考える試みです。

この特別展では、6つのコーナーを設けました。「①つくれる～家電はここから?」では、日本初あるいは国産初の1930年製の電気冷蔵庫、電気洗濯機などを展示。「②ひろまる～今でもやっぱり3種の神器?」では、1950～60年代の洗濯機、テレビなどを展示。「③つなげる～もしもしからネットワークへ」では、携帯電話1号機、ポケットベル、カラーテレビ、真空管ラジオなどを展示。「④くみこまれる～デジタル、ここにはじまる?」では、世界初のオールドランジスタ電卓、カード電卓などを展示。「⑤おもしろ～スマホってズイイ!」では、スマホにまつめられた機能を実物で展示。「⑥おもしろ～かろく、つよく!」では、スバル300と期間限定で次世代電気自動車コンセプトカー「兼しTEE WAVE」、カーボン部品を展示しました。

大人の方々にとっては、懐かしさと同時に、子供に昔の生活を伝える機会となりました。さらに、それぞれのコーナーでは、来館者がものづくりについて考え、自分で「つくってみたいもの」や「まともならおもしろいもの」などのアイデアを募集してきました。このアイデアを壁一面に展示して、共感できるものにリアルで投票する試みを加えました。たくさんの投票ラールを集めたアイデアは夏の特別展で紹介する予定です。

第3弾となる夏休み特別展「ニッポンの産業技術50年～今日の技術が未来をつくる」展は、近未来の展示も加わり、春休み特別展より内容を深め、規模を拡大して開催予定です。ぜひ、ご家族そろってのご来館をお待ちしています。

<広報企画・総務課 大野力>



「つくれる」家電はここから?コーナー。開館初の電気冷蔵庫展示の様子。写真は日本のEVTEE WAVEの展示。



開館50周年記念特別展「EVTEE WAVE」の展示。写真は日本のEVTEE WAVEの展示。

P10 JSF Today April 2015

### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：公益財団法人 日本科学技術振興財団

(コウエキザイダンホウジン ニホンカガクギジュツシンコウザイダン)

住所：〒102-0091

東京都千代田区北の丸公園2番1号

代表者：代表理事 理事長 榑原定征（サカキバラ サダユキ）

担当部署：経営企画・総務室（ケイエキカク・ソウムシツ）

担当者名：主査 大野 力（オオノ リキ）

電話番号：03-3212-8470

F A X：03-3212-7790

E-mail：[ono@jsf.or.jp](mailto:ono@jsf.or.jp)

U R L：<http://www2.jsf.or.jp/>